

## タッチパネル発券機「DeliousLio」の導入で、理想的な店舗運営が実現



# RAMEN FOOD HALL

ジャパンラーメンフードホール（株式会社オーシャン様）

横浜の臨海部に広がる「横浜みなとみらい 21」は、横浜ランドマークタワーやコスモワールド、赤レンガ倉庫などの印象的な建物が立ち並び、国内外の観光客で賑わう人気の観光スポット。

このエリアに位置する「横浜ハンマーヘッド」は、2019年10月にオープン。客船ターミナルと“食”をテーマとした体験・体感型の商業施設、ホテルからなる複合施設だ。

1Fにある「ジャパンラーメンフードホール」は、ラーメン店5店舗とバーで構成されるラーメンコンプレックス。ラーメン好きや家族連れなどで賑わい、またお酒を楽しめるスポットとしても注目されている。

「ジャパンラーメンフードホール」は、各店舗にタッチパネル発券機「DeliousLio」を導入し、理想的な店舗運営を実現させている。



「横浜みなとみらい 21」の新名所として注目を集める。このエリアは美しい夜景も楽しめる。

## タッチパネル発券機はお客様とのコミュニケーションツール。 海外のお客様にも多言語で対応

「メニューの写真がきれいで選びやすい」とお客様にも好評で、味付き卵やバターコーンなどのトッピングの注文も増えている。お客様がメニューを選ぶ間にラーメンの魅力を伝えるなど、タッチパネル発券機は、お客様とのコミュニケーションツールとして、なくてはならない存在だ。

横浜という場所柄、海外からのお客様も数多く訪れるが、英語や中国語に対応しているのも、スムーズにオーダーできる。



お洒落な空間で自由にラーメンが選べるので、家族連れや女性のお客様も多い。



直感的な操作性と多言語対応で海外からのお客様もスムーズにオーダー。

## 多様な決済システムに対応し、 お客様の利便性が向上

タッチパネル発券機は、急速に広がるキャッシュレスにも対応している。海外のお客様はもちろん、クレジットカードを持たない学生は交通系 IC カードを利用することが多いようだ。

複数の決済手段ができることで、さまざまなお客様の利便性が向上している。特に海外のお客様は、慣れない日本円での支払いから解放される。

また、タッチパネル発券機は支払いをお客様自身が行うため、スタッフは営業中に現金を扱うことがなく、衛生面でもメリットがある。



マルチ決済システム「Payoss (ペイオス)」の導入により、Visa、Master Card、JCB 等のクレジット、各種 IC カードなどで支払いができる。

## 「DeliousLio」は魅力的な店舗づくりに貢献している

タッチパネル発券機「DeliousLio」を導入したジャパンラーメンフードホールを運営する株式会社オーシャン 向井正人様は、「タッチパネル発券機を導入した理由のひとつに、クラウドがあります。社長が海外出張の際に、売上の速報データが把握でき、次の対策を講じることができます。さらに、店舗のファクトリー感にマッチするスタイリッシュさ、画面が大きいので各店舗の個性が出せることも魅力ですね」と語る。

タッチパネル発券機を導入したことで、お客様の利便性や売上げなどがアップし、運営管理面でも大きなメリットを得られたジャパンラーメンフードホール。今後もタッチパネル発券機を活用することで、さらに魅力的な店づくり、楽しみながら食事ができるラーメンコンプレックスを目指す。



### SHOP DATA



## RAMEN FOOD HALL

ジャパンラーメンフードホール

### バーもあるラーメンコンプレックスで、思い思いの楽しみ方を

「札幌麺処 白樺山荘」、「初代」、「麺厨房あじさい」、「札幌真麺処 幸村」、「博多 一星」の5店舗と、「OCEAN BAR」からなるジャパンラーメンフードホール。港町・横浜の街並みにふさわしいファクトリー感のあるスタイリッシュな空間で、それぞれにこだわりあるラーメンと多彩なドリンクメニューが楽しめる。



■住所：  
横浜市中区新港 2-14-1  
■営業時間：  
ラーメンコンプレックス  
11:00 ~ 22:00  
OCEAN BAR  
10:00 ~ 22:00  
■電話：  
045-305-4703



OCEAN BARでは、ノンアルコールも充実。



お店の様子はこちらの動画でもご覧いただけます。

